

153.JROAD-DPCを使用した、劇症型心筋炎の疾患登録とその解析

研究の概要

心筋炎は、心臓の筋肉（心筋）に炎症が及ぶ病気です。自然と改善する場合がありますが、一定数の患者が心臓のポンプとしての働きが低下したり、命に関わるような不整脈を発症したりする場合があります。心筋炎が重症化した場合、劇症型心筋炎と呼び、血圧を上げる薬（昇圧剤）を使用したり、血圧を保つために、補助循環装置を必要とすることがあります。

劇症型心筋炎は、致死率の高い疾患ですが、近年、補助循環装置の装着などにより、救命できる例も増えてきました。しかし、劇症型心筋炎は発症率が低いため、現状では、近年の治療の実績を反映した、有効な治療法等を確立するための基礎資料とすべき十分な全国規模の調査はありません。

そこで、奈良県立医科大学を取りまとめ施設として、日本全国の施設から過去の診療情報を収集し、劇症型心筋炎の患者背景、検査データ（血液検査や心臓超音波検査など）、入院中や退院後の治療などについて調査し、治療の現状や、生存・死亡に何が影響するのかについて明らかにすることを目的として、本研究を実施します。

研究の目的と方法

本研究の目的は、JROAD-DPC登録病院において、劇症型心筋炎患者の疾患登録を後ろ向きに行い、劇症型心筋炎患者の疫学や治療法の有効性について明らかにすることです。

本研究の参加について

本研究により患者様に新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望される方、その他研究に関してご質問がございました際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存のカルテデータを用いて実施する研究です。研究対象者（患者様）の個人情報（氏名、住所、電話番号）は記載せず、個人情報は特定されません。

調査期間

研究期間：当院倫理委員会承認日～2024年3月31日（調査対象期間：2012年4月1日～2017年3月31日）

研究成果の発表

研究成果については、学会、論文などでの発表を予定しています。

研究代表者

奈良県立医科大学循環器内科学講座 学内講師 尾上 健児

当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 循環器内科 藤本 和輝

問い合わせ先

860-0008 熊本県熊本市中央区二の丸1-5

国立病院機構熊本医療センター 循環器内科 藤本 和輝

電話 : 096-353-6501